

名古屋大学医学部附属病院

病院長名	小寺 泰弘
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市長和区鶴舞町 65 番地
交通案内	JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3 分 名古屋市長和区地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分

□ 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒業に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008 年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒業臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2 年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT (On the Job Training) を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム

【研修目標】

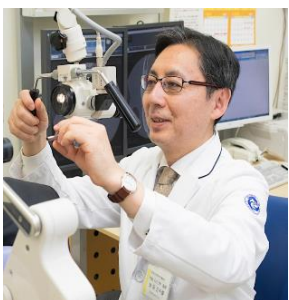
耳鼻咽喉科医師としての人格の涵養に努め、耳、鼻・副鼻腔、口腔咽喉頭、頭頸部の全ての領域において幅広い臨床能力を習得し、「国民に良質で安心な標準的医療を提供できる」専門医を育成することを目標とする。

【研修期間】

4 年

【研修スケジュール】

基幹研修施設である名古屋大学医学部附属病院と関連研修施設において、それぞれの特徴を生かした耳鼻咽喉科研修を行い、耳鼻研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験する。また、プログラムに定められた研修の評価は施設ごとに専攻医、指導医、プログラム責任者で実施し、4 年間の研修修了時にはすべての領域の研修到達目標を達成する。さらに、4 年間の研修中、認定されている学会での発表を最低 3 回は行う。また、筆頭著者としての論文執筆・公表を学術雑誌に最低 1 編は行う。



□ 主な連携施設

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、中部労災病院、刈谷豊田総合病院、名古屋医療センター、小牧市民病院、半田市立半田病院、県立多治見病院、公立陶生病院、トヨタ記念病院、岡崎市民病院、稲沢市民病院、常滑市民病院、公立西知多総合病院、名古屋セントラル病院、津島市民病院、松波総合病院、愛知県がんセンター中央病院、あいち小児保健医療総合センター、国立長寿医療研究センター

□ メッセージ

指導医（医局長 向山 宣昭）

若い先生方にはさまざまな患者様と出会い、多くの症例を経験していただきたいと思っております。知識や技術を学びながら成長し、耳鼻咽喉科の面白さを感じるような研修プログラムを用意しています。そのため、研修期間中は関連病院、大学病院などを数か所経験していただく予定です。

大学では、内耳画像検査、人工内耳手術、機能温存を目指した頭頸部がん治療、ナビゲーション手術など専門性の高い治療と研究を行っております。それぞれの分野の専門家がいたのでどの分野においても知識をつけることができます。

また、臨床だけでなく、研究にも触れていただく予定です。学会発表、論文執筆に関して積極的に指導しており、大学院生の多くは卒業までに論文を公表することができています。

当教室は様々な大学の出身者が在籍しております。女性医師も多く女性医師の入室も歓迎しております。育休取得も可能です。復帰後のサポートも本人の希望に合わせて行っております。医局の雰囲気は和気あいあいとしており、歓迎迎会をはじめとする飲み会、学会先での親睦会、医局旅行など楽しい行事も沢山ありますので、皆さまの入室をお待ちしております。



□ 募集要項

・採用予定人数	8 人
・給与/月額	月額約 20 万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等））を支給
・当直回数/月	約 3~4 回/月
・当直料/回	20,000 円/回
・その他	平日日勤帯の外勤等（週 1 日まで）可
・応募連絡先	担当者 向山宣昭 電話番号 052-744-2323 Eメール mkym1117@med.nagoya-u.ac.jp